

<p>◆学生担当……………（㊟ 森田直晃委員）</p> <p>・「教祖140年祭 学生おぢばがえり大会」御声掛けよろしくお願いいたします。</p> <p>・学生会総会 2月15日開催</p> <p>◆広報庶務部……………（㊟ 鈴木豊司委員）</p> <p>・ふれあい折り込み3月は4組です。</p> <p>◆時報手配り……………（㊟ 鈴木豊司委員）</p> <p>・2月6・13・20日拠点到着。よろしくお願ひします。</p> <p>◆社友会……………（㊟ 杉本和弘委員）</p> <p>・立教190年4月5日号から、以下の点において、発行体制を変更させていただくことにいたしました。</p> <p>・毎週発行から月2回発行（毎月5日号、20日号を予定）</p> <p>・面数を8面から16面に増加</p> <p>・定期購読料金を1年4,560円から3,840円、半年2,280円から1,920円、1部の価格を60円から100円に変更</p> <p>読者の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。</p>			<p>◇2月 定例支部活動</p> <p>◆合唱団アヴァンティー練習日</p> <p>とき 来年度の上半期練習日</p> <p>1月7、21日（201号室）／2月4、18日</p> <p>3月4、18日／4月1、15日</p> <p>5月13、20日／6月3、17日</p> <p>会場 鴨江アートセンター（206号）</p> <p>・団員大募集</p> <p>おうたを通して教祖の教えを学び、色々な歌を歌って、合わせる楽しさを共にしませんか。</p> <p>◆あらみち会…（㊟ 金原泰彦委員）</p> <p>・休会とさせていただきます。</p>		
<p>◇定例委員会・例会</p> <p>◆運営委員会…・・正岐道分</p> <p>とき 3月2日（月） 9時30分</p> <p>◆青年会献皿…・・みゅーず</p> <p>とき 2月18日（水） 10時</p> <p>◆婦人会…・・・例会</p> <p>とき 2月19日（木） 10時00～</p> <p>濱七江分教会</p>			<p>◇各組活動</p> <p>【1組】…… 組長 鈴木 豊司（濱 東）</p> <p>〈配本・集金〉 2月28日（土） 濱 東</p> <p>〈合同会議〉 3月5日（木） 15時 濱 東</p> <p>〈ひのきしん〉 休会です</p> <p>【2組】…… 組長 澤田 常和（愛孝心）</p> <p>〈配本・集金〉 3月6日（金） 午前</p> <p>【3組】…… 組長 長田 虎夫（濱 都）</p> <p>〈配本・集金〉 2月27日（金） 10時 濱 都</p> <p>〈ひのきしん〉 日時未定 曳 馬</p> <p>【4組】…… 組長 谷口 和幸（四日市浜）</p> <p>〈合同会議〉 3月9日（月） 9時30分 四日市浜</p> <p>【5組】…… 組長 森田 直晃（和加道）</p> <p>〈組例会〉 2月28日（土） 9時30分 和加道</p> <p>【6組】…… 組長 鈴木 顕正（東濱名）</p> <p>〈配本・集金〉 3月5日（木） 東濱名</p> <p>ふれあい 配布・集金</p> <p>【7組】…… 組長 太田 貴之（濱 名）</p> <p>〈組例会〉 3月9日（月） 10時 篠 原</p>		


ふれあい

2026年  
2月号  
No.498

会 支 部  
と 遠 西

一れつハみなめへくのむねのうち  
ほこりいゝばいつもりあるから

第八号―61

<p>地 方 委 員</p> <p>吉 岡 弘 和</p> <p>（和平分教会長）</p>			<p>いよいよ教祖百四十年祭の年を迎えさせていただきました。年祭活動という時間は今回とても短く感じたように思います。この度の三年千日の歩み出しの時、大教会長様より「神殿ふしん」を「たすけぶしん」として年祭活動に取り組むようにお言葉を頂戴しました。</p> <p>現在地へ移転して、六十年を経過する神殿は、近年の天候異変による台風被害とハクビシンによる害獣被害により、急激に老朽化を早めました。コロナ騒動が漸く治まった後の物価高騰の時代となり、どのように改修工</p>		
<p>事をするかと談じ合いを重ねていたところでのお言葉でした。「旬」ということなのでしょうが、神殿ふしんの心を定めさせていただいてからは、様々な事柄が驚くほどスムーズに、また不思議な繋がりを次々お見せいただきました。</p> <p>一年目はふしんの計画とお運びに、二年目は御遷座から引越越し、解体、そして地鎮祭、上棟式へと進み、三年目は神殿が竣工し、落成奉告祭を勤めさせていただきました。</p> <p>ふしんが順調に進むのに合せてお見せいただいたことは、身上</p>					
<p>事情の連続であります。信者さん方だけでなく、父に母に、そして妻にも身上をお見せいただき、親神様にお願ひを重ねる中に、還暦を迎えた私自身にも大きな身上をお与えくださいました。それも気付かないうちに発症し、検査と同時に完治していました。</p> <p>「たすけぶしん」で扶けられたのは実は自分であったと気づかされ、なんと不思議なことかと親神様教祖に御礼を申し上げながら、ふと論達第四号にお示しただく「人救けたら我が身救かる」のお言葉に思案が至りました。ふしとは本当に不思議なものです。立て合うように、この旬を待つてお見せいただいたように思います。</p>			<p>ある信者さんから「会長さん、神様は神殿ふしんという大きなふしを、みんなで分け合って、大難を小難にして御守護くださっているんだね、ありがたね。」とお話しくださいました。まさにその通りだと思えます。神殿ふしんは親神様教祖がお喜びくださり、どんなたすけも請け合うと勇んでくださっている、そこで「たすけぶしん」とお示しいただき、私たちは人のたすかりを願って通らせていただくことで、親心に沿わせていただけるのだと学ばせていただきました。</p> <p>教祖の年祭活動でお見せいただくことは、子供かわいという親心の表れなのだと、改めて感じさせていただきます。</p> <p>今年は一層おぢばに心を寄せて通らせていただきたいと思ひます。</p>		

<p>（前回より）</p> <p>この電話を頂戴した時にですね、もちろん二つ返事で引き受けたいしました。もう胸が高鳴ってですね、じんわりと嬉し涙があふれてきたんです。それはね、やっぱり教祖のお言葉、お心を世界中にお伝えする役目ですから、もう嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。そんな気持ちを込めてですね、制作に取り組みました。</p> <p>三年千日の一年目は『水を飲めば水の味がある』というお言葉をテーマに、『あふれるありがたさ感じて』という題にしてリーフレットを作りました。多分皆様にもお配り頂けたかと思いますが。ちよつとここでこれを朗読させてもらいます。</p> <p>『あふれるありがたさ感じて 人には、あちらこちらに咲く数多くの花のよう にたくさんの方がたさがあります。あれ があつたら喜べる、これが食べられれば幸せ と、つい思ってしまうがちな日々ですが、今</p>		<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>	
<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>		<p>師をつとめています。毎月訪問する少年院でも、相対する少年たちに「先月私と面会した日から今日までのこの」か月間を振り返って、”ありがたいなあ“、”嬉しいなあ“と思えることがあつたら、私に教えてください。”と投げかけます。最初のうちは、ほとんどの少年たちが「何もないです」とか「そんなことあるわけないでしょう」とか言つてですね、答えます。「じゃあ私から言おうね。今日も君に会えてよかった。私も元気にここまで来れたし、来てみたら君も元気そうだ。ありがたいなあ。嬉しいなあ。」と声をかけます。「今日は真つ青な空だね。こういう日は空を見ていだけで気持ちがいいよね。ありがたいなあ。」と言つて、面会室の窓から空を見上げます。面会室の窓と言つてもですね、小さな窓で鉄格子がかかっているんです。でもその窓からでもですね、空が見えるんです。小さな窓からでも、見上げる空は無限です。「気持ちいいなあ。」と言つて背筋を伸ばしたらですね、目の前の少年も、ぱつと窓に視線を向けてくれます。</p> <p>（次号へつづく）</p>	

<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>		<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>	
<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>		<p>（前より）</p> <p>日も朝を迎えられ、お日様のぬくもりも、水の冷たさも、風のさやぎも感じられます。どれもこれも、生きていればこのことです。遠き日、天理教教祖おやさまは、家族が難儀・不自由を感じたある時、『水を飲めば水の味がする』とおおせられ、どんな中にもありがたさがあり、大いなるご恩に感謝することを教えられました。幸せは手の届かないところにあるのではなく、身の回りに咲く花のように、数えきれないほどたくさんあるのです。どのような環境にあつても小さなありがたさに気づくことが幸せな生き方です。ありがたさを感じたら、生きる力が湧いてきます。じんわりと、そして温かく。』</p> <p>こういうリーフレットです。</p> <p>ありがたさを感じることは、お道の御用をつとめる人はもちろんのこと、社会で働く方も、また主婦の方も、学生さんも、子供たちも、また例え病気で療養中であつても、誰もができることだと思ひます。教祖のひながたをたどり、陽気ぐらし“をすることは、実はどなたにでもできることなのです。</p> <p>先ほど申し上げました通り、私は少年院の教誨</p>	